



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



平成 27 年 12 月 22 日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
 代表者名 代表取締役社長 保坂光二
 (コード番号 8925 東証二部)
 問合せ先 常務取締役 久保玲士
 (TEL 03-5367-2001)

平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値を公表しておりませんでした。最近の業績の動向等を踏まえ、次のとおり業績予想値を公表いたします。

記

1. 平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値 (平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	11,380	2,190	1,950	1,960	8.22
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 7 月期第 2 四半期)	3,319	280	182	167	0.42

2. 修正の理由

平成 27 年 11 月 6 日付「販売用不動産の売却に関するお知らせ」で発表しておりますとおり、東京都港区における販売用不動産を売却したことにより平成 28 年 7 月期の営業利益目標 34 億円の 6 割超に相当する利益貢献がありました。さらに、平成 28 年 7 月期第 2 四半期末 (平成 28 年 1 月 31 日) までに売却が見込まれる販売用不動産が数件あることから、表記のとおり平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値を公表いたします。

売上高は前年同期実績を大幅に上回る 113 億 80 百万円の見込みで、平成 28 年 7 月期通期予想売上高 220 億円の 51.7%に相当します。利益面においても上記のように利益率の高い販売用不動産の売却があることから親会社株主に帰属する四半期純利益は 19 億 60 百万円と前年同期の実績 1 億 67 百万円はもちろん、前期 (平成 27 年 7 月期) の当期純利益実

績 18 億 48 百万円を平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間ですでに上回る見込みです。

なお、平成 28 年 7 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想につきましては、重要性に乏しいため、公表しておりません。

3. 平成 28 年 7 月期通期業績予想について

平成 28 年 7 月期第 1 四半期末の販売用不動産（期末在庫）の内訳は次のとおりです。

種類	件数
収益マンション	8 件
収益ビル	4 件
ホテル・旅館	2 件
再開発アジャストメント事業案件	3 件
合計	17 件

(注) 平成 27 年 12 月 22 日現在で売却済も含む

金融機関からの融資については、当社の販売用不動産の売却実績が着実に積みあがってきていることから、金融機関数、融資額ともに増加しております。当社では、自己資金および金融機関からの借入金を活用して再開発アジャストメント事業案件等をはじめとする販売用不動産の仕入に努め、バリューアップして販売してまいります。

また、平成 28 年 7 月期通期においては、上記販売用不動産の順調な売却が見込まれると同時に、再開発アジャストメント案件も含めて多くの仕入情報を精査しております。このため、現段階において平成 27 年 9 月 14 日に公表した平成 28 年 7 月期通期連結業績予想に変更はありませんが、上方修正等変更が生じた場合には速やかに発表する予定です。

(注) 本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上